

ジェンダー・ギャップ指数 2020

2019年12月に世界経済フォーラムが男女共同参画を示す指標であるジェンダーギャップ指数（GGI：Gender Gap Index）を発表しました。2019年の日本の順位は昨年度から11位下がり、153か国中「121位」となりました。先進国では最低水準となっています。

下の表は、政治、経済、教育、健康の4分野のデータについて、100%を完全な平等として指数化し、順位が決まっています。昨年度と比べてみると経済と健康の分野において順位を上げていますが、政治と経済の分野は日本の全体の順位に大きく影響していることがわかります。

順位	国名	分野	順位(2019)	順位(2018)
1	アイスランド	総合	121位	110位
2	ノルウェー	政治	144位	125位
3	フィンランド	経済	115位	117位
112	インド	教育	91位	65位
121	日本	健康	40位	41位

世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2020」より作成

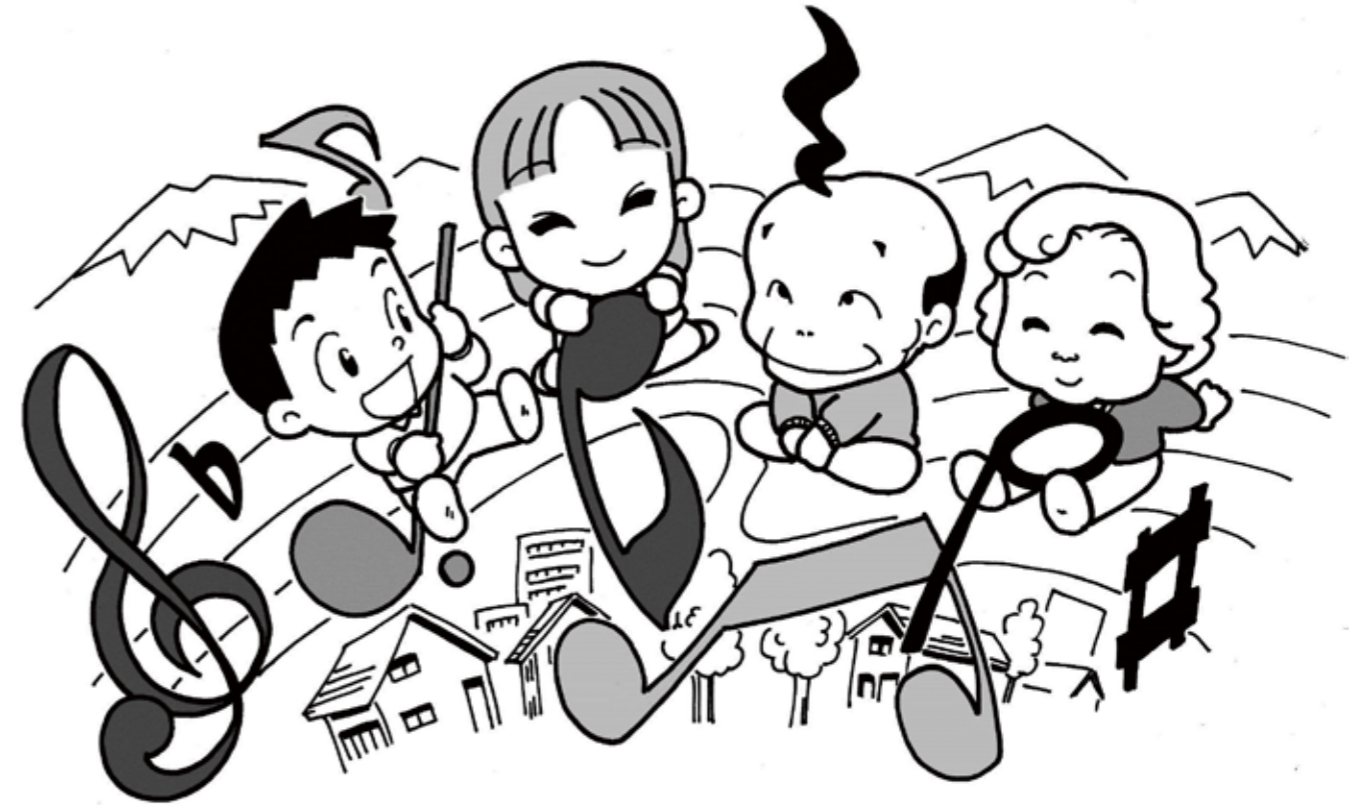
男女共同参画社会の推進のために…

南アルプス市は、市民一人ひとりの人権が性別や世代に偏ることなく尊重され、ともに輝き、生きがいのある男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいく決意を表明するため「男女共同参画都市宣言」を行っています。

南アルプス市男女共同参画宣言

～男女が共に「個として輝き、
共に参画するまちづくりをめざして」～

- 男女の人権の尊重とその実現
- 男女が共に自立して支え合う家庭づくり
- 男女共同参画による豊かな地域社会づくり
- 男女が平等で共に働きやすい職場づくり
- 男女共同参画プランの推進体制づくり



令和元年度 南アルプスハーモニープラン推進会議の
テーマは「防災」「子育て」「LGBT」でした

目次

令和元年度活動報告

ハーモニープラン推進会議 活動報告	1P～2P
南アルプス市女性団体連絡協議会	3P～4P
南アルプスハーモニーフォーラム in2020	5P

お知らせ

さんかくデータ	6P
さんかくニュース	7P

令和元年度、南アルプスハーモニープラン推進会議は第8期として新たに19名のメンバーが集まり結成されました。南アルプス市は、1人ひとりの人権を尊重して、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のため「南アルプス市男女共同参画基本計画 南アルプスハーモニープラン」を策定しています。この推進会議では、南アルプスハーモニープランを総合的かつ計画的に推進するために「男女が共に『個』として輝き、共に参画するまちづくり」を行っています。

これまでの活動（令和元年度）

- 6/24 委嘱式・第一回推進会議「男女共同参画って何だろう？」**
最初の会議では、1人ひとりに日頃から「男性だから」「女性だから」と感じることを考えてもらいました。
- 7/2 第二回推進会議「自分たちが出来ることってなんだろう？」**
前回の会議で出てきた意見のうち「防災」「子育て」「LGBT」に焦点をあてて、自分たちが出来ることについて樹形図を作成しました。
- 8/20 第三回推進会議「テーマ決定」「第二次南アルプス市男女共同参画基本計画 ハーモニープラン」**
第8期推進会議のテーマを「防災」「子育て」「LGBT」の3つに決定しました。また、活動の根幹となる「ハーモニープラン」についてあらためて学びました。
- 9/17 第四回推進会議「南アルプスハーモニーフォーラム in2020 開催決定」**
2年間の活動の中、中間となる最初の発表。今後の方針も踏まえ、これまでの会議で出た疑問に対して、しっかりと対策を考えました。
- 10/24 第五回推進会議「男女共同参画基礎講座」講師 山内 幸雄氏（憲法学者 山梨大学非常勤講師）**
男女共同参画について、基本的な知識とこれまでの社会的背景についてお話いただきました。自分たちの活動をあらためて考えるいい機会となりました。
- 11月～1月 部内会議「南アルプスハーモニーフォーラム in2020 に向けて」**
それぞれの部会ごとに令和元年度の活動展示を作成しました。
- 『そのほかの活動』**
南アルプス市が「男女共同参画宣言都市」であることや「ハーモニープラン推進会議」が推進活動を行っていることをもっと知ってもらうために市内イベントにて啓発活動を行っています。

活動内容

防災班

防災班では、まず身近で感じる男女共同参画視線の防災について考えました。

【活動を始める前に】

「自治会における役職は男性が多い」「消防団に加入する人が減ってきている」といった意見が出され、「女性視点の防災について準備が足りていない」「地域の防災に関する担い手が不足している」ということに繋がると考えました。

【南アルプス市の防災と子どもたちへの教育について】

上記のとおり、男女共同参画の視線で防災を考えた時「男女が共に、防災について参画できる環境づくり」が必要となります。そこで防災班は、小さい時からの防災教育に着目しました。

【伝えたいこと】

「男性だから必要なこと」や「女性だから必要なこと」はたくさんあると思います。子供の目線では、また違った感想があるかもしれません。また、南アルプス市内で起こりうる災害を考えた時、対策が地区ごとで違って来ること考えられます。来年度は防災における「男性と女性の関わり」や「地域との関わり」を中心に学び、調査したうえで、推進へと繋げていきたいと思っています。

子育て班

子育て班では、「子育てがしやすい環境づくり」をテーマに活動を始めました。

【子育てがしやすい環境】

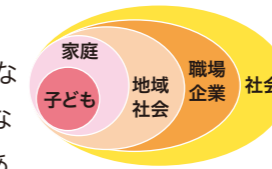
地域や近所との繋がりが薄くなっていく今、まずは子育ての中心となる「家庭」について考えてみました。

- 昔は、女性が仕事をやめ、育児の中心となる。
- 今は、男女共働き、男性も育児に参加している。

このことから、男性の育児参加が今後必要不可欠と考え「男性の育児休暇」について調べてみたところ、制度はあるが、中々取得しづらいという背景があることがわかりました。

【伝えたいこと】

子育ては、女性が行わなければならないものではあ



りません。お母さんだけでなく、家族全員の協力が必要です。また、地域では走り回る子どもを見守り、職場では子育てに対する理解も重要です。

子育て班では、みんなが少しずつ今できることを行い支え合うことが「子育てがしやすい環境」になっていくのだと思います。

LGBT班

LGBT班では、最近、様々なメディアで耳にすることが増えた『LGBT』について調べていくことにしました。

【LGBTって知ってる？】

まず LGBT とは・レズビアン (Lesbian)・ゲイ (Gay)・バイセクシャル (Bisexual)・トランスジェンダー (Transgender) の頭文字を組み合わせた表現です。

「性的少数者」と考えられることも多いですが、本質は「性の多様性」「性のアイデンティティ」からなる文化を大切に肯定的な用語となります。

【どのくらいいるの？】

実際に、全体の5%がLGBTと言われています。南アルプス市でいうと、人口72,000人のうち、3,600人くらいいるということになります。

【伝えたいこと】

このように LGBT について調べていくと知らなかったことがたくさんありました。誰にも言えず1人悩んでいる人もいれば、無意識のうちに家族や友達、職場の仲間など周りの人を傷つけてしまっているかもしれません。

LGBT班では今後「自分らしくいられる社会」について考えていきたいと思っています。

啓発活動

今年度は、7つ市内イベントで啓発活動を行いました。多くの方にハーモニープラン推進会議の活動を知ってもらういい機会となりました。



啓発物品



サマーフェスティバル



健康フェスタ

南さんの言うとおりに

友情出演 子宝の女神ラヴィちゃん



画：Y. 大堀

みなさん、女性団体のことが少しわかっていただけましたか？
大勢に参加を呼び掛けた講演会、地域の会員を対象に実施した事業があります。
では、今年度のあんなこと、こんなこと、楽しかったことなどを紹介します。



地域で活動している女性団体が連携し、市ともつながりを持った活動を実施しています。住みやすい地域づくりが、住みやすい南アルプス市に広がっていきます。
ぜひ、みなさん仲間になって連絡を取り合いませんか？

お問い合わせ

南アルプス市女性団体連絡協議会事務局
市民活動支援課
TEL 055-282-6493
会長：飯野多恵子
副会長：清水久子 清水うめ子

5月 総会・記念事業

総会終了後の恒例となっている記念事業の講演会は、南アルプス警察署生活安全課の飯島課長さんに講師をお願いしました。

最近の詐欺の手口や金融トラブルなどを聞き、具体例が上がると、ある、あると思わずうなずいていました。最近は、手口も巧妙になり親切を装った電話勧誘などが多いようです。



9月 「県立富士山世界遺産センター」「富士山科学研究所」ほか見学



市がユネスコエコパークに登録され、自然との共生や環境保全について取り組みが進められています。

今回は、毎日目にしている世界遺産にも登録されている富士山について、歴史や価値、保全活動について学ぶとともに、会員同士の交流も図りました。

10月 女性議員との交流会

南アルプス市議会で活躍されている女性議員 3 名をお招きし、日ごろの活動を通じて気が付いたこと、感じていることなど意見交換を行いました。

主なものは、

- ・災害時の避難所開設について、学校等への避難所運営マニュアルの有無。
- ・CATV の一本化への可能性と、災害時の情報発信について。
- ・健康ウォーク事業のポイントを自分のためではなく、学校等に寄付できれば良い。
- ・児童館へ一度帰宅してからではなくても行けるようにならないか。
- ・お年寄りのためのコミュニティカフェが市内にもっと増えてほしい。など

意見交換した中のいくつかは、12月の定例議会の質問につながりました。



1月 市長を囲む会

金丸市長をお招きし、今の南アルプス市の現状や今後の課題についてわかりやすく説明をうけました。説明された内容や日ごろ感じていることについて、活発な意見が出ました。

主なものは、

- ・補聴器への医療費補助はできないか。
 - ・健康事業としてのわくわくウォークのポイント活用について。
 - ・男女共同参画推進事業として、男性職員の育休取得率は？など
- でした。市行政と関わりを持つよい機会となりました。



今年も南アルプスハーモニーフォーラム in 2020 を開催しました

南アルプス市では、毎年ハーモニープラン総合目標である『男女が共に「個」として輝き、共に参画づくりをめざして』に向け、男女共同参画社会の実現のため、南アルプスハーモニーフォーラムを開催しています。今年で 12 回目となる南アルプスハーモニーフォーラム in 2020 では、基調講演と市内で活躍する方の事例発表が行われました。

基調講演「地域における男女共同参画」

萩原 なつ子 先生 (立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授)



今回のテーマは「男女共同参画と多様性の視点から考える誰一人取り残さない地域づくり」についてです。誰一人取り残さないとは、赤ちゃんからお年寄りまで全ての人を指し、今世界中から注目されている「持続可能な開発目標 (SDGs)」として世界共通語となっています。その SDGs には、男女共同参画 (ジェンダー平等) が特に重要であると最初に明記されています。

現在、地域社会における様々な問題に向けて、多様な人たちが協力し合って解決する協働社会が求められています。日本でも、男女共同参画基本法が施行されて 20 年が経ちましたが、あまり進んでいません。その理由は、男性は仕事、女性は家事というような性別役割分担意識が根強いからだと言われています。社会が大きく変わっている中、女性差別撤廃条約にもあるとおり固定観念を壊し、「男らしく女らしく」ではなく、「自分らしく」生きていくことが、地域社会を変えるうえで重要なのです。また仕事や家庭、その他の地域活動などの両立「ワークライフバランス」が地域の活性化には非常に重要となります。人間として生きるための人権意識と社会基礎力を持ち、男女ともに生活者として自立していきましょう。

最後に男女共同参画とはありますが、多様な人たちが自分らしさを活かしながら、協力して素敵な街にしていくことに性別や年齢は関係ありません。老若男女、未来の市民として多様な世代、多様な人たちが一緒に作る地域づくりが必要です。

南アルプス市が素晴らしい街になることを期待しています。

市内で活躍されている方の事例発表

NPO 法人 あんふあんねっと

軽部 妙子

NPO 法人あんふあんねっとは、百々で主に子育て広場を行っています。

始まりは平成 17 年度「山梨県女性未来塾」で「子育て支援は誰のため」を題材に学んだことです。平成 18 年度に「あんふあん(フランス語で子ども)」として、(子供を真ん中にして) 子どもと関わる人たちを繋げていくための支援として活動を始めました。最初の頃は、できるできないに関わらず、いろんなことに挑戦してきました。涙を呑むようなこともありましたが、諦めず挑戦することで伝えることや認めてもらうことの大切さを学んでいきました。

小さな視点が集まることで「あんふあんねっと」ができ、輪が広がっていくことに大きく深く伝えていくことが出来るようになりました。皆様も何か興味がありましたら、まずは一歩踏み出していただけたらと思います。

南アルプス! LOCO

新津 幸・加賀美 裕子・鶴見 ひろ子

南アルプス! LOCO は、大好きやかわいいをいっぱい詰めて地元を楽しく、ちょっとハッピーにするための女性クリエイターチームです。写真撮影・デザイン・執筆のスキルを生かし「地域のために何かできれば」と意気投合したメンバーで活動を始めました。

活動は「広報裏表紙の LOCOMAGA 連載」「チラシ等のデザイン」「イベントの主催・出展」「子育て広場」など多岐に渡ります。3人グループではありますが、その都度、思いや目的に共感してくれる仲間や市民活動団体と手を取り合って、素敵なこと・ハッピーな体験をお伝えしています。

住んでいる人が幸せであってこそその地域。これからも自分たちや皆さんの「ハッピー」が多くの人に伝わり、南アルプス市での暮らしが豊かになればいいなと思っています。

さんかくニュース

公益社団法人 程ヶ谷基金

男女共同参画・少子化関連顕彰事業

南アルプス! LOCO 活動賞受賞

この顕彰事業は、公益社団法人 程ヶ谷基金による男女共同参画社会の推進及び少子化対策において活動の一層の推進を目指すことを目的に実施されています。



「南アルプス! LOCO」は、市内を中心に活動されている 3 名の女性クリエイターチームです。少人数でありながら、地域と密着した町おこしイベントや PR 活動など、住民目線の活動が南アルプス市に元気を与えています。そういった彼女らの活動が活躍する女性のロールモデルとなっており、南アルプス市にアイデアいっぱいのハッピーを届ける団体として評価されました。

男女共同参画啓発事業

川柳・標語の優秀作品

入賞作品男女共同参画に関する川柳・標語を募集し、1,324 点の応募をいただきました。たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

入賞作品

すてきだね 仲間がいること 笑うこと (上原 泰地さん)	可能性 男女のタッグで 無限大 (甘利 妃恵花さん)	シェアしよう 仕事も家事も 子育ても (深見 さだ子さん)
---------------------------------------	-------------------------------------	--

入選作品

- 手つだうよ ぼくの言葉に ママえがお (浅野 磨波呂さん)
- ありのまま 自分かくさず 話そうよ (深澤 虎太郎さん)
- 男女なく 一人一人が 主人公 (中込 佑太さん)
- 家事育児 父も一緒に お手伝い (鈴木 碧唯さん)
- あこがれる 働くすがた 父と母 (福島 瑚雪さん)
- 子育ても 家事も仕事も 分け合おう (望月 ミチルさん)
- 世の中は みんな平等で みんなが主役 (依田 真歩さん)
- 性別を 超えて聞こえる 笑い声 (小林 小糸さん)
- 支え合い 互いの気持ちを 伝えよう (古屋 皓羽さん)
- ありのまま 自分らしさで 輝こう (木之瀬 七海さん)